



報道機関 各位

記者発表資料
令和4年2月1日（火）
問い合わせ先：消防企画課
課長：萩原
担当：筒井、庭山
電話：833-7329
内線：5433

令和3（2021）年中の火災・救急・救助統計（概数）を発表します

令和3年1月1日から令和3年12月31日の間における、さいたま市の火災・救急・救助統計（概数）を下記のとおりお知らせします。

記

1 火災発生状況

- (1) 出火件数は300件で、前年より36件増加しています。
種別ごとの件数は、建物火災172件、車両火災22件、その他の火災106件となっています。
- (2) 火災による死者は11人で、前年より7人減少し、負傷者は44人で、前年より1人増加しています。
- (3) 出火原因の第1位は「放火（疑い含む）」74件、次いで「たばこ」40件、「こんろ」及び「配線器具」23件、「電灯・電話等の配線」22件の順となっています。
なお、令和元年はさいたま市誕生後始めて「たばこ」が第1位となりましたが、令和3年は、令和2年に続き、「放火（疑い含む）」が第1位となりました。

2 救急出場状況

- (1) 救急出場件数は66,442件で、前年より3,985件増加しました。
事故種別で最も多いのは「急病」で43,684件、次に「一般負傷」の9,907件、「交通事故」の4,068件の順となっています。
- (2) 搬送人員は56,837人で、前年より2,694人増加しました。
年齢区分別の搬送人員は、高齢者が31,017人、成人が20,014人、少年が2,257人、乳幼児・新生児が3,549人となっています。

3 救助出場状況

- (1) 救助出場件数は880件で、前年より92件増加し、直近3年間で最も多い件数となっています。

事故種別で最も多いのは「建物等による事故」で466件、次いで「その他の事故」161件、「火災」133件の順となっています。

- (2) 救助活動件数は549件で、前年より60件増加し、救助人員は369人で前年より66人増加しています。

4 問い合わせ先

- (1) 火災発生状況に関すること

予防課 林・田村 電話833-7593 内線5621

- (2) 救急出場状況に関すること

救急課 清宮・伊藤 電話833-7981 内線5551

- (3) 救助出場状況に関すること

警防課 立沢・山田 電話833-7991 内線5531

5 資料

「令和3（2021）年さいたま市における火災・救急・救助統計（概数）」